



未来の子供達に美しい自然を残したい

～ 持続可能な社会をめざして ～



ユニー株式会社

ユニー株式会社
環境社会貢献部
百瀬 則子



🍏 持続可能な社会

現在のことでなく未来に向かって地球環境を壊さずに、人間や地球の生き物が共存していく社会を構築していくこと、この仕組みが持続可能な社会です。



● ブラックイルミネーション

低炭素社会

CO₂など温室効果ガス発生抑制を目指す社会

- 化石燃料の使用削減
- エネルギーの節約
- カーボンフットプリントの少ない商品
- バイオマスの利活用



● リサイクルステーション

- リディース…コピー用紙使用削減
- リユース…マイバッグキャンペーン
- リサイクル…リサイクルボックス

循環型社会

限りある資源を大切に、3Rを実践する社会

持続可能な社会

自然共生社会

生物多様性を
実現する社会

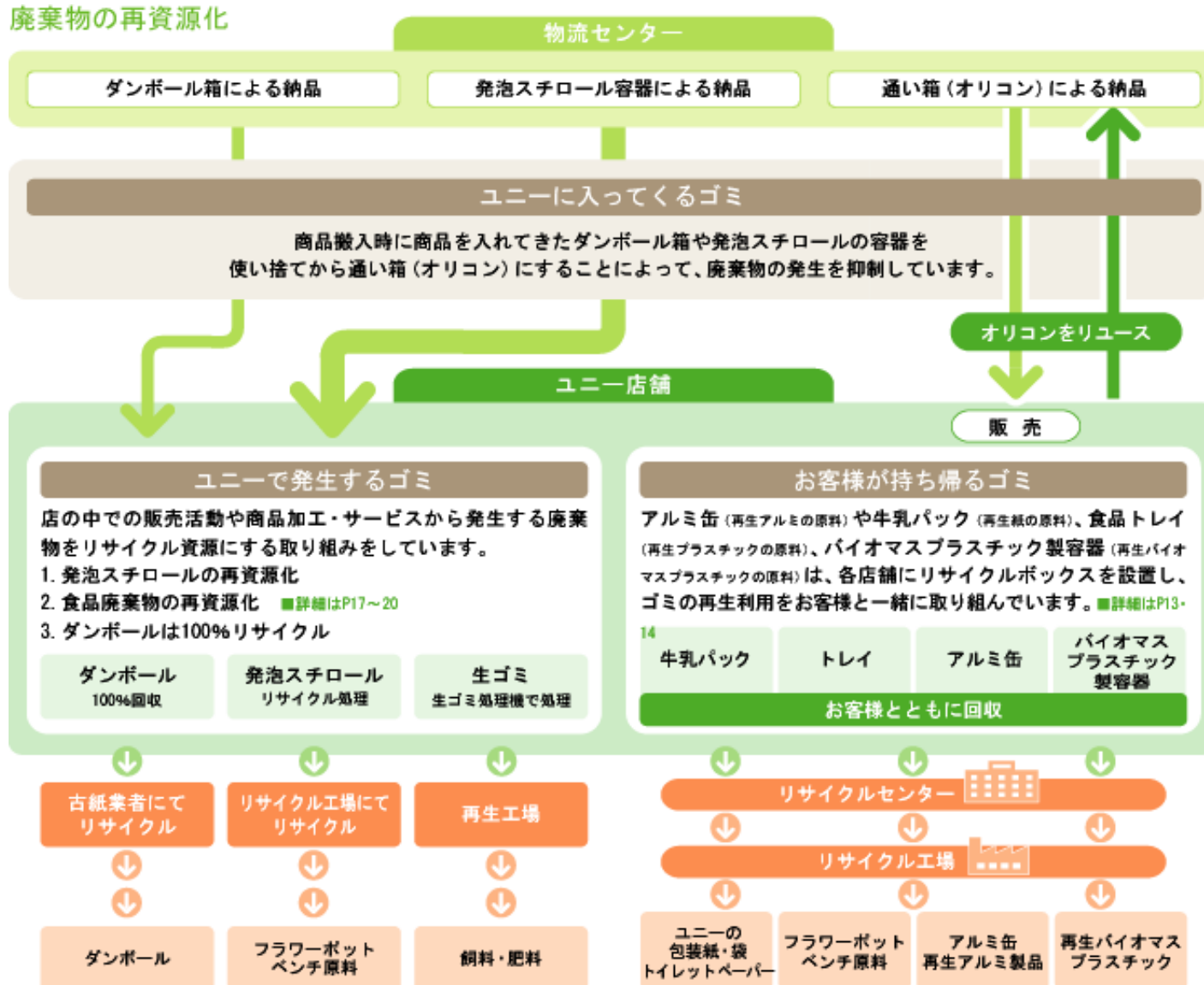


● エコ野菜

- 自然の恵みを大切にした農業
- 自然や生物に配慮した商品



食品リサイクルの環





2008年度 廃棄物排出量と構成比率

(単位: kg)

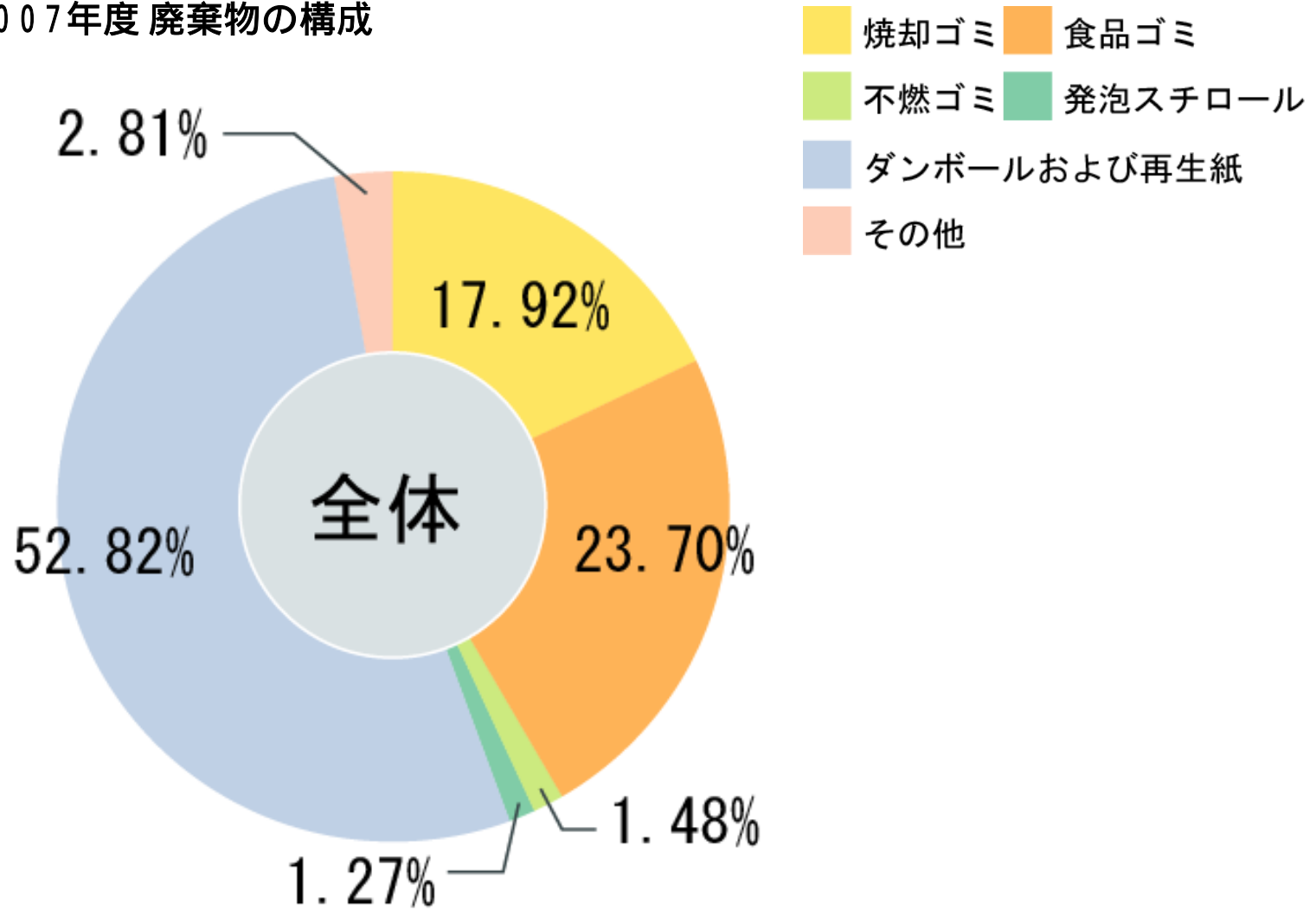
区分	種類	2006年度	2007年度	2008年度			
				ユニー (前年比)	ユーストア	全体	
可燃ゴミ	焼却ゴミ	一般可燃ゴミ	11,363,301	11,278,177	10,383,502 (92.1)	1,241,108	11,624,610
		ビニール (食品系)	4,473,957	4,152,803	3,864,182 (93.0)	747,794	4,611,976
		小計	15,837,258	15,430,980	14,247,684 (92.3)	1,988,902	16,236,586
	食品ゴミ	生ゴミ	14,885,741	13,644,825	12,995,757 (95.2)	2,156,028	15,151,785
		魚のアラ	3,568,186	3,747,896	3,426,320 (91.4)	531,558	3,957,878
		てんかす	988,113	995,900	959,061 (96.3)	170,652	1,129,713
		食用廃油	1,262,589	1,216,312	1,035,097 (85.1)	196,549	1,231,646
小計	20,704,629	19,604,933	18,416,235 (93.9)	3,054,787	21,471,022		
不燃ゴミ	ピン	795,980	749,557	762,488 (101.7)	45,287	807,775	
	缶	530,653	490,236	445,407 (90.9)	89,100	534,507	
	小計	1,326,633	1,239,793	1,207,895 (97.4)	134,387	1,342,282	
発泡スチロール		997,262	1,023,539	959,234 (93.7)	194,884	1,154,118	
ダンボール および 再生紙	ダンボール	36,395,499	36,753,040	37,571,279 (102.2)	8,633,469	46,204,748	
	紙類 (再生可)	1,317,484	1,540,349	1,466,792 (95.2)	175,343	1,642,135	
	小計	37,712,983	38,293,389	39,038,071 (101.9)	8,808,812	47,846,883	
その他	プラスチック	594,698	514,977	438,780 (85.2)	88,595	527,375	
	ビニール (衣住系)	850,875	887,923	785,051 (88.4)	144,492	929,543	
	ペットボトル	292,774	288,644	245,264 (85.0)	24,758	270,022	
	陶器、ガラス	118,940	112,708	99,840 (88.6)	6,519	106,359	
	金属カス	155,536	155,776	146,757 (94.2)	22,109	168,866	
	その他	503,206	459,997	449,417 (97.7)	92,416	541,833	
	小計	2,516,029	2,420,025	2,165,109 (89.5)	378,889	2,543,998	
合計		79,094,794	78,012,660	76,034,228 (97.5)	14,560,661	90,594,889	



※廃棄物計量は、旧ユニー店舗では計量器による実査ですが、旧ユーストア店舗では実査店舗の指数計算による数値を用いています。
また、現在金店舗計量器導入を進めています (2009年6月現在旧ユーストアの導入率/約60%)。



2007年度 廃棄物の構成





ユニーの食品リサイクルの方針



安全であり環境負荷が少ないこと。
(大気汚染・水質汚染を予防し、省エネであること)



再生資源として有効であること。
(有価資源になり再廃棄しない)



経費が抑えられること。
(公共処理料金との比較)



継続できる方法であること。
(リサイクルルートが確立していること)



2007年 リサイクル実績

	店舗から発生する食品残さ(生ゴミ)	排出量	リサイクル量	リサイクル率
ユニー	生鮮食品の調理クズ(野菜・果物他)、賞味期限切れや飲食の食べ残し	12,983t	2,785t	21.5%
	魚のアラ(魚介類の調理クズや内臓・骨)	3,433t	2,850t	83.0%
	食品廃油(揚げ油他)	1,053t	1,053t	100.0%
	てんかす	959t	20t	2.1%
	小計	18,428t	6,708t	36.4%
ユーストア	生鮮食品の調理クズ(野菜・果物他)、賞味期限切れや飲食の食べ残し	2,156t	217t	10.1%
	魚のアラ(魚介類の調理クズや内臓・骨)	484t	436t	90.1%
	食品廃油(揚げ油他)	197t	197t	100.0%
	てんかす	171t	3t	1.8%
	小計	3,008t	853t	28.4%
全体	生鮮食品の調理クズ(野菜・果物他)、賞味期限切れや飲食の食べ残し	15,139t	3,002t	19.8%
	魚のアラ(魚介類の調理クズや内臓・骨)	3,917t	3,286t	83.9%
	食品廃油(揚げ油他)	1,250t	1,250t	100.0%
	てんかす	1,130t	23t	2.0%
	合計	21,436t	7,561t	35.3%



食品リサイクルのあゆみ

2000	<ul style="list-style-type: none"> ● 福井市で地域循環堆肥へのリサイクルに取り組む ● 名古屋市内店舗に熱乾燥処理機導入（アピタ新守山店） 	2006	<ul style="list-style-type: none"> ● 横浜市内3店舗が店舗から排出した食品残さを飼料にして飼育した豚の肉を販売する「横浜有機リサイクル」（登録再生事業）に参加
2001	<ul style="list-style-type: none"> ● アピタ福井大和田店が地域循環堆肥へのリサイクルに参加 	2007	<ul style="list-style-type: none"> ● 愛知県刈谷市で構築した「食品リサイクルループ」が1月に食品リサイクル法再生利用事業計画に認定される ● けやきウォーク前橋（アピタ前橋店）、アクアウォーク大垣（アピタ大垣店）に真空乾燥機を設置し、大根を刺身のつまに加工するリサイクルループに加わる
2002	<ul style="list-style-type: none"> ● 茨城県で堆肥へのリサイクルに取り組む ● 愛知県内2店舗に真空乾燥機導入（アピタ岡崎北店、アピタ東海荒尾店） 	2008	<ul style="list-style-type: none"> ● 愛知県一宮市、稲沢市、江南市、豊山町にあるユニー、サークルKサンクスで取り組むリサイクルループが完成し、食品リサイクル法再生利用事業計画に認定される ● アピタ御嵩店に真空乾燥機を導入し大根を刺身のつまに加工するリサイクルループに加わる
2003	<ul style="list-style-type: none"> ● 富山市内4店舗、富山エコタウンに参加（バイオガスによる発電） 	2009	<ul style="list-style-type: none"> ● 名古屋市内および春日井市内店舗から排出した食品残さを飼料にする取組「中部有機リサイクル」に参加 ● 石川県、山梨県、三重県で地域の再生利用事業者や農業生産者とともに新たなリサイクルループを構築予定
2004	<ul style="list-style-type: none"> ● 長野県（アピタ伊那店）、奈良県（アピタ大和郡山店）の店舗に真空乾燥機導入 ● 愛知県内3店舗で愛知経済連の協力により堆肥化および作物栽培・販売の実験開始 ● 三重県で堆肥へのリサイクルに参加（アピタ鈴鹿店） 		
2005	<ul style="list-style-type: none"> ● 三重県内で堆肥を作って栽培した作物の販売開始（アピタ松阪三雲店） ● 愛知県で2店舗（アピタ瀬戸店、アピタ江南西店）乾燥機導入 		



環境にいいこと、プラス。



食品リサイクルループ

地元のみなさんと一緒に環作りに取り組んでいます





環境にイイこと、プラス。



子供環境学習・収穫体験・食育

消費者交流会の様子



お米についての勉強会



芋ほり体験



田植え体験



稲刈り体験



イチゴ収穫体験



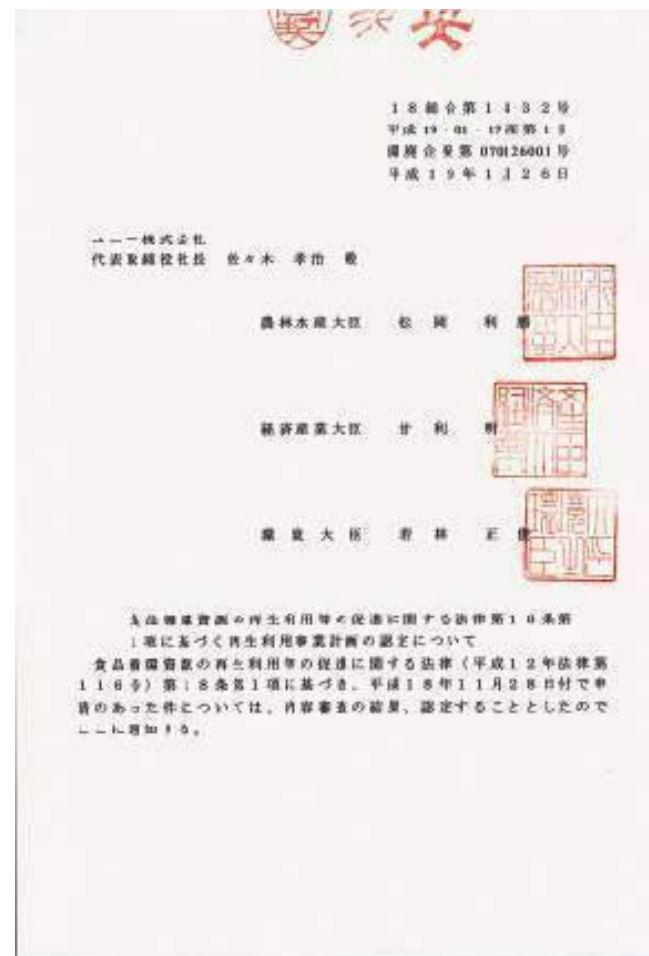
環境にイイこと、プラス。



食品リサイクル法「再生利用事業計画」全国初の認定



店舗の様子



再生利用事業計画認定制度 第1号





環境にイイこと、プラス。



食品リサイクルループ

地元のみなさんと一緒に環作りに取り組んでいます





環境にいいこと、プラス。



食品リサイクルループ

店舗に処理機を設置して環作りに取り組んでいます





環境にいいこと、プラス。



食品リサイクルループ

登録再生利用事業者とともに循環型栽培作物の販売拡大にも取り組んでいます





環境にいいこと、プラス。



食品リサイクルループ

食品リサイクル「飼料化」にも取り組んでいます





これからの課題

リサイクルループを構成するパートナーシップ —— リサイクルループを回し続けていくために

食品再生資源(食品残渣)を排出する店舗

- ・調理クズ、魚アラ、売れ残り、残飯などから異物を排除し、分別、計量する。
 - ➔ 分別マニュアルの作成。従業員、テナントへの教育の徹底。
- ・食品再生資源の品質を確保するために、適正に保管する。
 - ➔ 廃棄物庫の整備(清掃、冷蔵施設)。保管容器の整備(分別容器、洗浄)

再生利用事業者

- ・品質の高い再生製品(堆肥、飼料)を製造する。
 - ➔ 原料である食品再生資源、製造方法、施設、保管の基準作成と監視
- ・農業生産者のニーズに合った再生製品を製造する。
 - ➔ 再生製品の販売先を確保し、農業生産者とのパートナーシップを図る。

リサイクル農産物を消費者に提供する生産者

- ・トレーサビリティの確立(生産者の顔の見える農産物)
 - ➔ 農業生産者の生産技術と適正な再生製品(堆肥、飼料)によって、安全安心な農作物を提供してもらう。

それぞれの役割・責任を果たし、パートナーシップを図る。

「安全安心で新鮮、そして美味しい」作った人の顔の見える農作物をお客様にお届けすることが、ユニーの役目です。



これからの課題

リサイクルループを構築するために —— パートナーシップを構築するために

食品関連事業者はパートナーをいかに見つけるのか。(企業の環境担当者)

- ・リサイクルループで生産した農作物を販売することを目的として、パートナーを探す。
 - ➔ 再生利用事業者の製造する堆肥や飼料が、農業生産者の利用に適した品質かどうか確認する。
- ・再生製品(堆肥や飼料)を利用する農業者を探す。
 - ➔ 地産地消を前提に、生産技術が高く、よく主旨を理解している農業者とパートナーシップを組む。

食品関連事業者は、リサイクル農作物を販売する。(企業の仕入れ担当者)

- ・生産された農作物を販売するために、社内で検討する。
 - ➔ 販売計画を立てる前に、農作物の栽培履歴や品質が販売基準に達しているかどうかを確認する。
- ・農業生産者と食品関連事業者がパートナーシップを図る。
 - ➔ 販売計画に基づいて生産計画を検討して、購入契約を結ぶ。
- ・食品関連事業者はリサイクル作物を消費者にその特徴を充分にアピールする。
 - ➔ 売り場にリサイクルループの主旨説明や、生産者の紹介などを掲示し、「安全安心な農作物」であることを明示する。

パートナーを探すために、紹介者（もしくはコーディネーター）が必要です。

パートナーシップで最も重要な要素は、お互いの食品リサイクルに対するポリシーが合っていることです。

店舗の所在地で「地域循環型食品リサイクルループ」を構築し、地域の再生利用事業者や農業生産者とパートナーシップを図っていくことがユニーの方針です。



みんなでまわし続ける食品リサイクルループの環



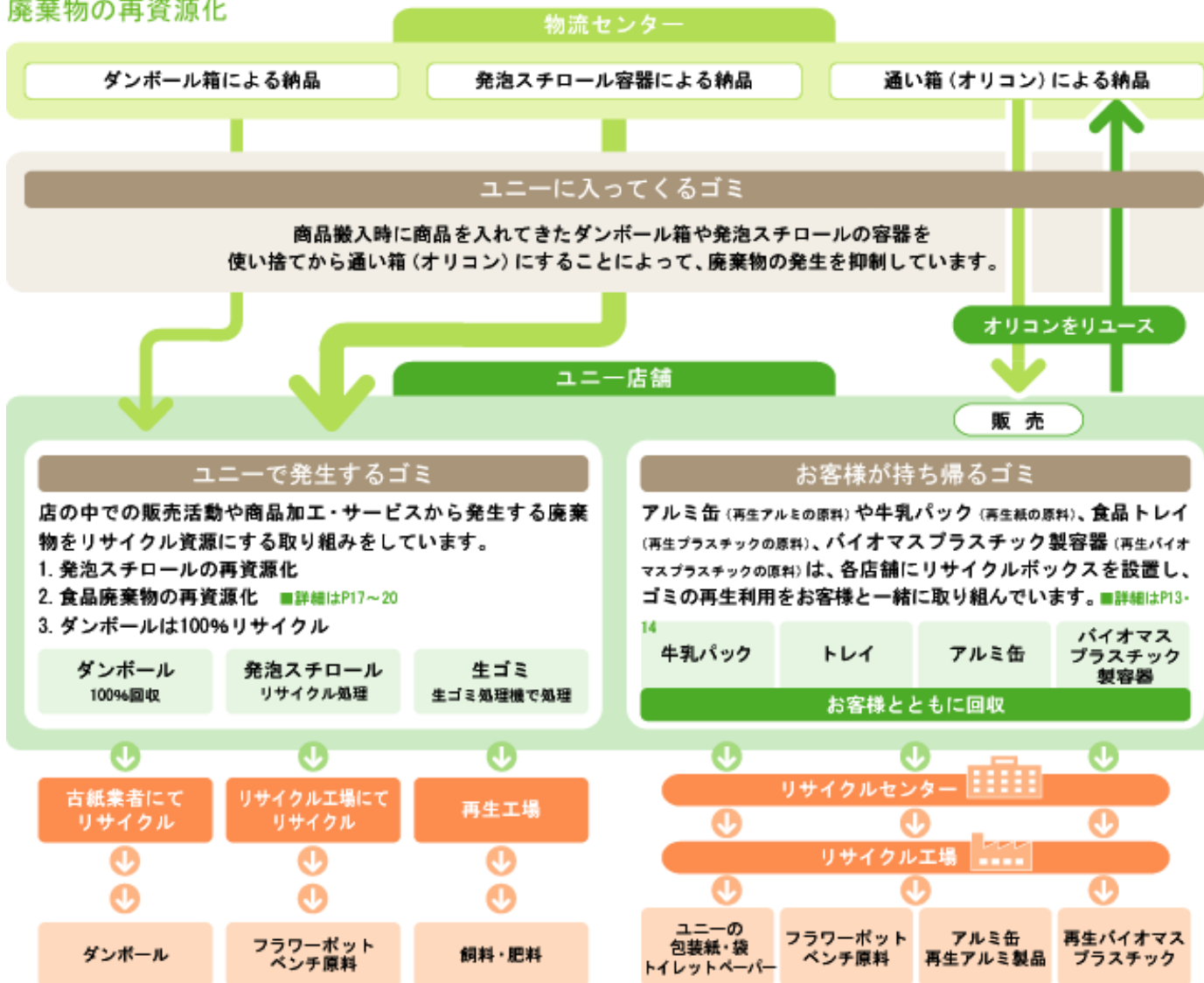


環境にイイこと、プラス。



廃棄物や容器包装を削減する取組み

廃棄物の再資源化





容器包装の見直し

家庭から排出する廃棄物の60%が容器包装です。

①容器包装をできるだけ使わない販売への取組み

レジ袋のように、お客様と一緒に「使わなくてもよい容器包装」を削減する。

- ➡ ノーレジ袋キャンペーン
- ➡ レジ袋の無料配布中止→有料化
- ➡ 使用済みレジ袋のリサイクル

②使った容器包装を廃棄物にしない取組み

お客様が商品と一緒に持ち帰った容器包装を回収し、再生資源にする。

- ➡ リサイクルボックスによる店頭回収
- ➡ 製品（トイレットペーパーなど）やベンチに再生

③サステイナブルな原料を使った容器包装への取組み

限りある石油資源を使用せず、栽培可能な植物資源を原料にする。

- ➡ バイオマスプラスチック製容器の使用
- ➡ 使用済みバイオマスプラスチック製容器のリサイクル



① 容器包装をできるだけ使わない販売への取組み

レジ袋のように、お客様と一緒に「使わなくてもよい容器包装」を削減する。

ノーレジ袋キャンペーン

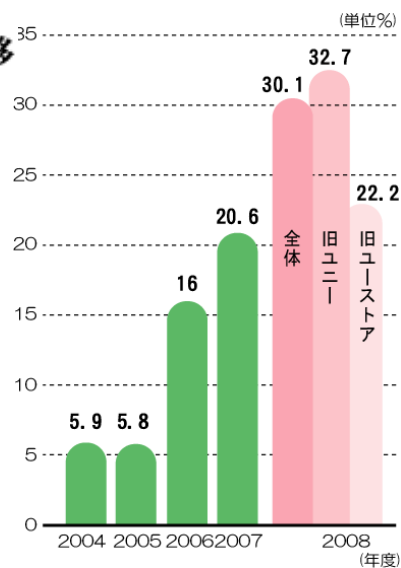
レジ袋使用量・重量の推移
(全サイズのレジ袋の重量)

2004年度	従業員全員にマイバッグ配布	2,242t
2005年度	愛・地球博エコマネーに参加	2,195t
2006年度	ノーレジ袋キャンペーン開始	2,075t
2007年度	レジ袋無料配布の中止	1,818t
2008年度	レジ袋有料化が進み、レジ袋使用削減を実施	
旧ユニー		1,339t
旧ユーストア		452t
全体		1,791t

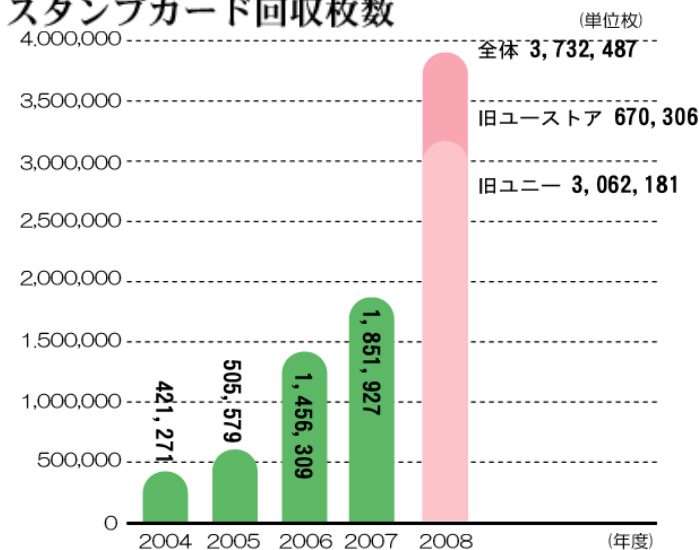
ユニー全社の
レジ袋使用枚数 (単位千枚)

2004年度	2億135万円	2004年度	326,067
2005年度	2億5,487万円	2005年度	340,611
2006年度	2億7,322万円	2006年度	333,630
2007年度	2億9,729万円	2007年度	310,559
2008年度	2億7,978万円	2008年度	
		旧ユニー	228,508
		旧ユーストア	80,714
		全体	309,222

ユニー全社の
レジ袋辞退率の推移



スタンプカード回収枚数





🍏 レジ袋無料配布中止 — 有料化

中部地方は2010年にはほぼ全店実施。

ユニーが有料化を実施するためには、

- 自治体が主体的に取り組む
 - 市民団体が支援する
 - 地域の小売り事業者が大半参加する。
- などを協議会で話し合い、協定書を締結する。

現在実施している店舗

愛知県 92
2010年

県内100%実施
予定年度

